

令和5年度 教育文化部の運営方針

教育文化部長
岡本 啓司

教育文化部の組織体制	
教育総務課	学校教育課
社会教育課	図書館

基本方針

- 学校教育では「確かな学力と多様な学び、健やかな心身の育成」を方針とし、心の教育を基盤に据え、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成に努めます。そのために、地域・家庭・学校が教育の目標を共有し、連携して教育活動を進めます。
学校施設・設備の適正な管理や耐震性確保等良好な教育施設環境の維持に努めます。
安全でおいしい給食の提供に努めます。
- 社会教育では「市民一人ひとりが心豊かで、充実した人生を送ることができる社会教育の推進」を方針とし、市民の生涯学習活動の推進や文化会館アエル・中央公民館を活用した鑑賞機会の提供、市民の文化・芸術活動への支援、文化財の保存・周知・活用に取り組みます。
青少年の健全育成活動など地域で子どもを守り育てる活動の推進や家庭の教育力向上を図る事業を推進し、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支援します。
誰もがスポーツに触れ合う機会の創出とスポーツ団体やスポーツ活動への支援を行い、「スポーツが盛んなまちづくり」を目指します。
- 図書館では、利用者ニーズに適応した、多様なサービスを提供します。
市民の生涯学習の拠点として、問題の解決に必要な情報の収集や提供に努め、教養と知識を高め余暇を充実させる読書環境を整備します。
子どもたちが、読書に関心を持つよう、本の魅力や楽しさを知る機会を創出します。

重点的に取り組む施策・事業

1 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 (学校教育課)		4 読の深い読書をも みんなに	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを		
現状・課題	「学びの庭」構想が本実施され、市内3つの学舎において、小・小中合同での行事や地域・企業と連携した教育活動を進めています。 地域の理解を一層進め、より多くの住民が主体的に参画できる体制の整備を目指すとともに、本市における小中一貫教育やコミュニティ・スクールのあるべき姿、学校施設の今後について、住民を交えた検討を行っていく必要があります。	達成目標 令和6年度に導入するコミュニティ・スクールの運営について、小中一貫教育の在り方検討会を4回開催し、コミュニティ・スクールの運営マニュアルを作成します。				
	令和6年度からのコミュニティ・スクール導入に向け、9年間の一貫性をもった教育の推進や保・幼並びに地元高校との連携（縦の接続）、学校と地域との連携（横の連携）について、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組も含め検討を行ってまいります。 また、少子化が進む中、学校施設の将来の在り方についても検討してまいります。					

2 一人ひとりを大切にし、子供が主体的に学ぶ 学校づくり (学校教育課)		1 隔りが なくそう	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	10 人や国の不平等 をなくそう	
現状・課題	I C T機器を効果的に活用しながら、「きくがわ21世紀型授業」の実践を積み重ねてきたことにより授業改善が進んでいます。一人一台配備された情報端末を活用し、各教科の授業での効果的な活用方法の研究や児童生徒をつなぐオンライン授業を実践することで、主体的な学びや探求的・協働的で問題解決的な学びを通して、未来を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むための授業改善を進めています。 また、外国人児童生徒や学習障害を抱える児童生徒などへの教育的支援も含め、誰一人取り残さない学びの環境づくりをさらに進めていく必要があります。	達成目標				
	確かな学力の定着を目指し、一人一台端末を活用した主体的・探求的な学びを実現する授業改善（学びを広げ深める）を推進します。 また、子ども一人ひとりに目を向け、論理的思考力・コミュニケーション力・創造力・自律性を育み、多様な学びや個に応じた指導・支援を行います。					
		令和5年12月末までに I C Tを活用した授業改善に必要な市内小中学校 6校のネットワークを改修します。				

3 学校施設の維持管理及び整備 (教育総務課)		4 質の高い教育を みんなに	12 つくる責任 つかう責任			
現状・課題	学校は建築から50年以上経過した施設が多く、老朽化による施設・設備の補修が増えています。今後は、学校施設の耐震化を優先し併せて長寿命化を実施します。 また、学校ごとの整備は、児童・生徒数に応じ、計画的かつ効率的な施設整備を進めていく必要があります。	達成目標				
	六郷小学校昇降口棟の耐震性能についてはやや不足しており、経年老朽による建物の劣化が見られるため、耐震補強工事に併せ屋上防水工事を実施し、良好な教育環境の確保に努めます。					
		令和5年11月末までに 六郷小学校昇降口棟耐震補強・屋上防水工事を完成します。				

4 安全でおいしい給食の提供 (教育総務課)		1 輪廻が なくそう	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	12 つくる責任 つかう責任	
現状・課題	学校給食では、安全でおいしい給食を衛生的に提供する必要があります。 栄養バランスの取れた安全でおいしい給食を継続的に提供するために、引き続き調理業務の委託先と連携する必要があります。					
	地産地消会議を開催し県内産農作物の作付け状況及び入荷状況を把握した上で、地場産の食材を豊富に活用した献立で学校給食を提供し、地場産品使用率を前年度実績以上に向上させ、安全でおいしい給食の提供に努めます。 また、学校給食における調理・配送の一部委託業務が令和5年度までの委託契約であることから、令和6年度以降における委託業務の継続検討及び業者選定を実施します。					
取組内容		達成目標				
		学校給食における調理・配送等業務委託の継続検討及び業者選定を完了します。				

5 学習・体験活動の推進 (社会教育課)		4 質の高い教育を みんなに	12 つくる責任 つかう責任			
現状・課題	生涯学習のまちづくりを推進するため、各種講座の実施や情報提供に努めています。今後も、社会やライフスタイルの変化を踏まえた上で、市民が心豊かで充実した人生を送ることができるよう、多種多様な学習・体験の機会を提供する必要があります。 また、活動の拠点となる中央公民館や、文化会館アエルについても、施設の適正な管理運営と計画的な改修・整備を進める必要があります。					
	中央公民館や文化会館アエルを活動拠点として、各種講座の企画や情報提供を行います。 また、文化会館アエルは老朽化による建物や設備の劣化が見られます。指定管理者と連携した運営を行い、施設の計画的な改修・整備に努めます。					
取組内容		達成目標				
		文化会館アエルの設備更新工事3件を完成します。(大小ホール舞台照明・負荷設備更新工事、空調機・吸収冷温水機分解整備工事、受電設備改修工事)				

6 文化財の保存・周知・活用 (社会教育課)		4 質の高い教育を みんなに			
現状・課題	文化財の保存・継承に取り組むとともに、多くの市民が郷土の歴史への理解を深められるよう文化財の周知・活用に努めています。今後も市民の文化財や歴史に対する意識が高められるよう、情報発信事業の充実や顕彰活動、歴史を学ぶ機会の創出に取り組む必要があります。	達成目標	令和5年10月末までに 黒田家代官屋敷資料館の 展示替えを行います。		
	指定文化財の保存管理に取り組むとともに、文化財の情報発信に努めます。 歴史・文化遺産を活用した各種事業を計画し、文化財の普及・顕彰の推進を図ります。 また、大河ドラマ「どうする家康」を契機として、文化財への感心を持っていただくよう代官屋敷資料館の展示替えを行います。				

7 生涯スポーツの推進と施設の整備・管理 (社会教育課)		3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任
現状・課題	「スポーツを通して市民が健康で、生きがいをもって生活できるまち」を目指し、スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携し、各種スポーツ教室や大会の開催、スポーツ環境の整備等に取り組み、一人1スポーツの推奨を通して生涯スポーツの普及に努めています。 また、スポーツ施設の安全・安心な利用のため、施設の管理と計画的な改修・整備を進める必要があります。	達成目標	令和6年1月末までに 菊川運動公園野球場の防 護フェンス改修工事を完 成し、スポーツ協会と連 携して野球関連イベント を実施します。		
	スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携し、誰もが気軽に参加出来るスポーツ教室や大会を開催し、生涯スポーツの普及に努めるとともに、計画的に体育施設の改修・整備を進めます。 また、老朽化した堀之内体育館の建て替えに必要な基本設計を行います。なお、災害時には災害支援拠点として活用します。				

8 図書館デジタルサービスの向上 (図書館)		4 質の高い教育を みんなに	10 人や国の不平等 をなくそう			
現状・課題	必要な情報へのアクセス手段を拡大し、利用者の利便性を高め、また、安全にいつでも図書館を利用できるよう、電子図書等の提供が望まれています。 所蔵資料のデジタル化や電子図書館システムの導入準備を進めていく必要があります。	達成目標				
	デジタル化した歴史的資料の目録作成を行うとともにホームページに貴重な資料を公開し、本市のデジタルアーカイブを拡充します。 電子図書館システムの導入にあたり、システムの仕様やコンテンツについて図書館協議会に諮りながら導入準備を進めていきます。					

令和5年12月末までに電子図書館の導入準備のため、図書館協議会に諮り、システムの仕様を決定します。

9 図書館資料の充実 (図書館)		4 質の高い教育を みんなに	10 人や国の不平等 をなくそう			
現状・課題	多くの市民に図書館を利用してもらうためには、図書館の資料を魅力のあるものにすることが求められます。 資料の点数や内容を充実させるとともに各館の特色を活かし、あらゆる世代に向けて図書館をより利用してもらう必要があります。	達成目標				
	各館を利用する市民の傾向や立地する地域色を活かし、それぞれに特色を持たせた事業展開と効果的な資料収集を行います。					

①令和5年9月末までに、中高生を対象とするYA（ヤングアダルト）の特設コーナーを菊川文庫に設置します。

②令和5年9月末までに、子育て世代を対象とした絵本の選び方講座を小笠図書館にて実施します。